

2017年9月

ICDAホールディングス株式会社

(東証二部・名証二部 3184)

International Conglomerate of Distribution for Automobile

会社説明会資料

～個人投資家の皆様へ～



ICDAホールディングス

International・・・・・・・・国際的

Conglomerate・・・・・・・・複合企業体

Distribution・・・・・・・・流通

Automobile・・・・・・・・自動車

～自動車に関わる国際的流通複合企業体～

当社グループの概要について

社名

ICDAホールディングス株式会社

設立

2009年10月1日

本社

三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1

代表者

代表取締役社長 向井弘光

資本金

1,161百万円

発行済株式総数

2,099,936株（自己株式64株を除く）

事業内容

自動車販売関連事業
自動車リサイクル事業

売上高

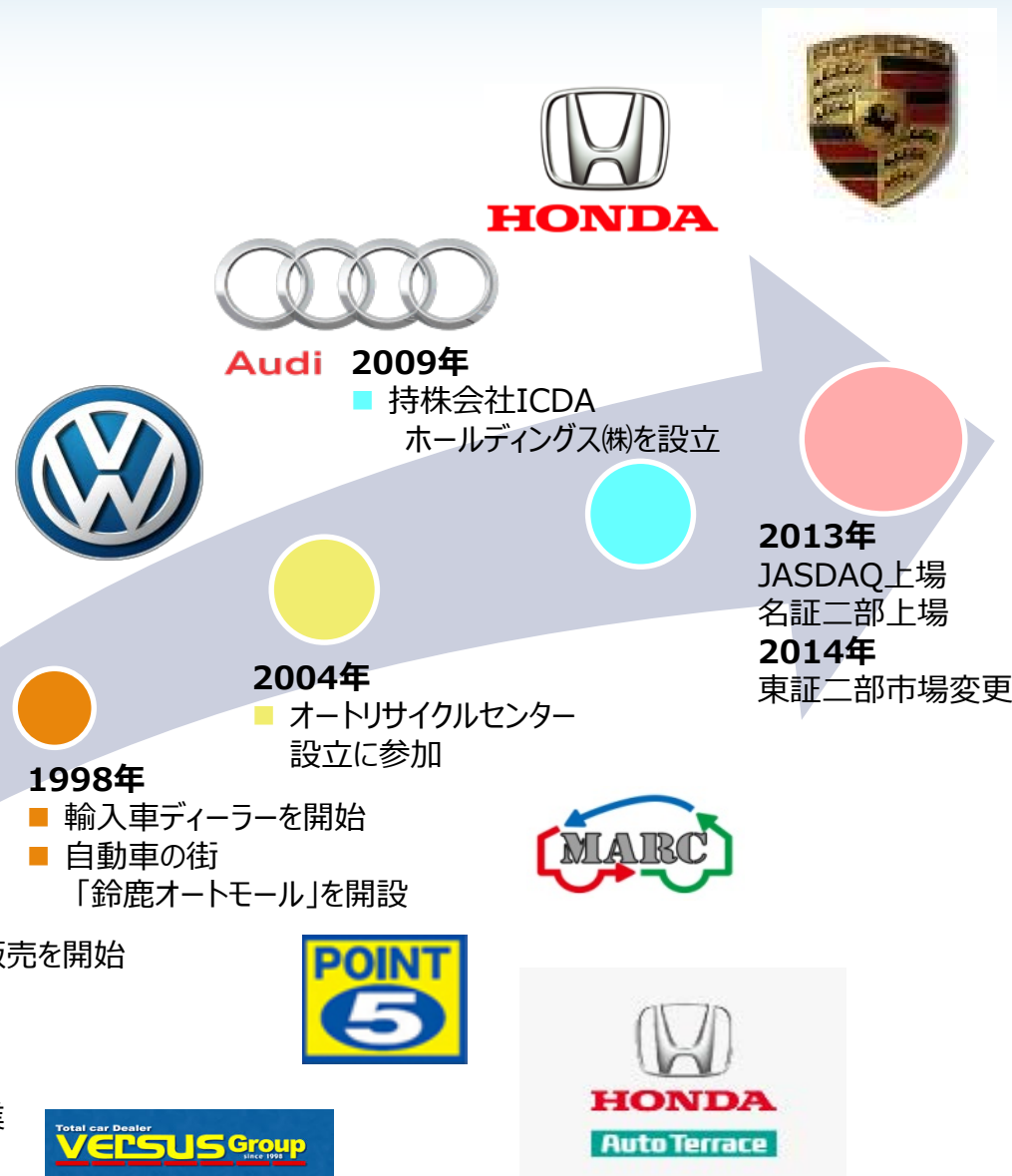
24,044百万円（連結）
（2017年3月期）

経常利益

538百万円（連結）
（2017年3月期）

従業員数

349名（連結）
（2017年3月期）

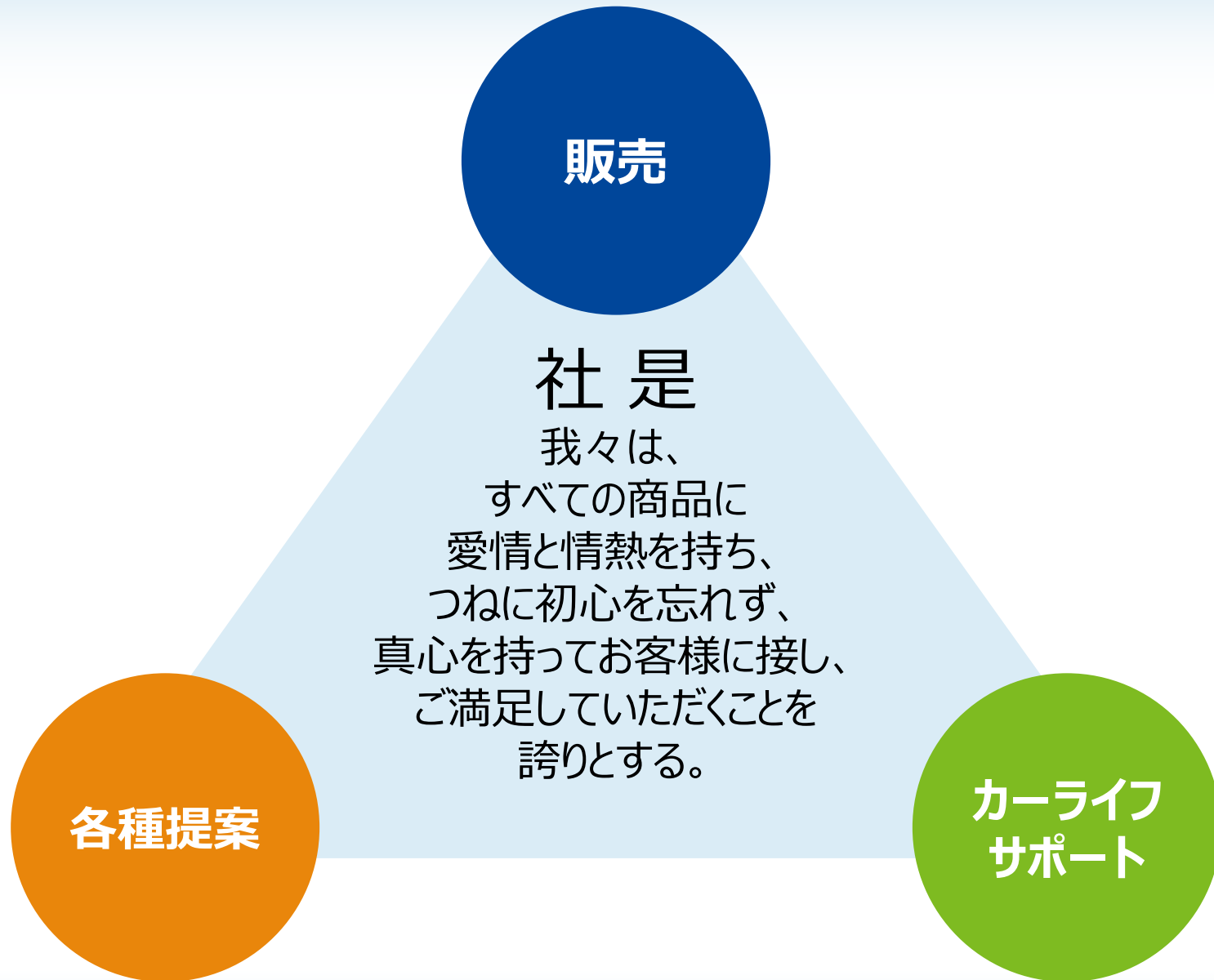




- 昭和18年 三重県熊野市に生まれる
- 昭和35年～ 名古屋で働きながら、バイクレースに参加するために鈴鹿サーキットへ
- 昭和42年5月 向井自動車商会（現㈱オートモール）創業 代表
- 昭和47年9月 向井自動車販売㈱（現㈱オートモール）設立 代表取締役
- 昭和52年12月 向井自動車販売㈱（現㈱ホンダ四輪販売三重北）設立 代表取締役
- 昭和53年9月 ㈱ホンダベルノ三重北 代表取締役
- 平成13年10月 ㈱オートモール 代表取締役会長兼社長（現任）
- 平成19年6月 ㈱ホンダ四輪販売三重北 代表取締役会長（現任）
- 平成21年4月 ㈱マーク・コーポレーション 代表取締役社長（現任）
- 平成21年10月 ICDAホールディングス株式会社設立 代表取締役社長（現任）

2輪レースに参加するため鈴鹿サーキットに通い、レース用のバイクは自作でメンテナンスも手掛けた。







ICDAホールディングス

(株)ホンダ四輪販売
三重北



- 新車販売（ホンダ正規ディーラー）
- 中古車販売・買取（全メーカー）
- サービス

(株)オートモール



- 新車販売
（ポルシェ・Audi・VW正規ディーラー）
- 中古車販売・買取（全メーカー）
- サービス

自動車販売関連事業

(株)マーク・コーポレーション



- 鈴鹿オートリサイクルセンター

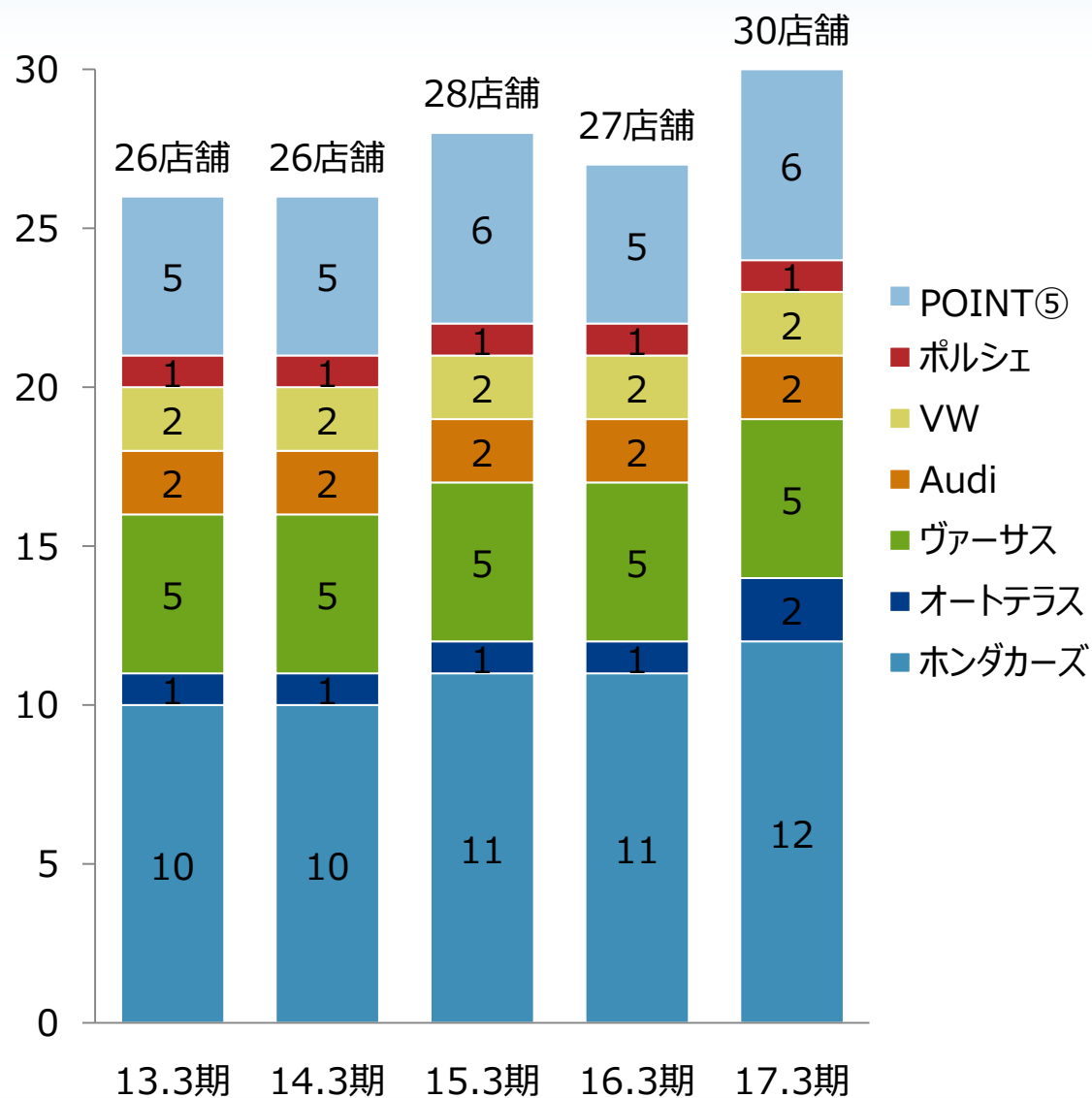
自動車リサイクル事業

- 様々な価格帯の自動車を取り扱うことで、幅広い顧客層にお車を提供することが可能

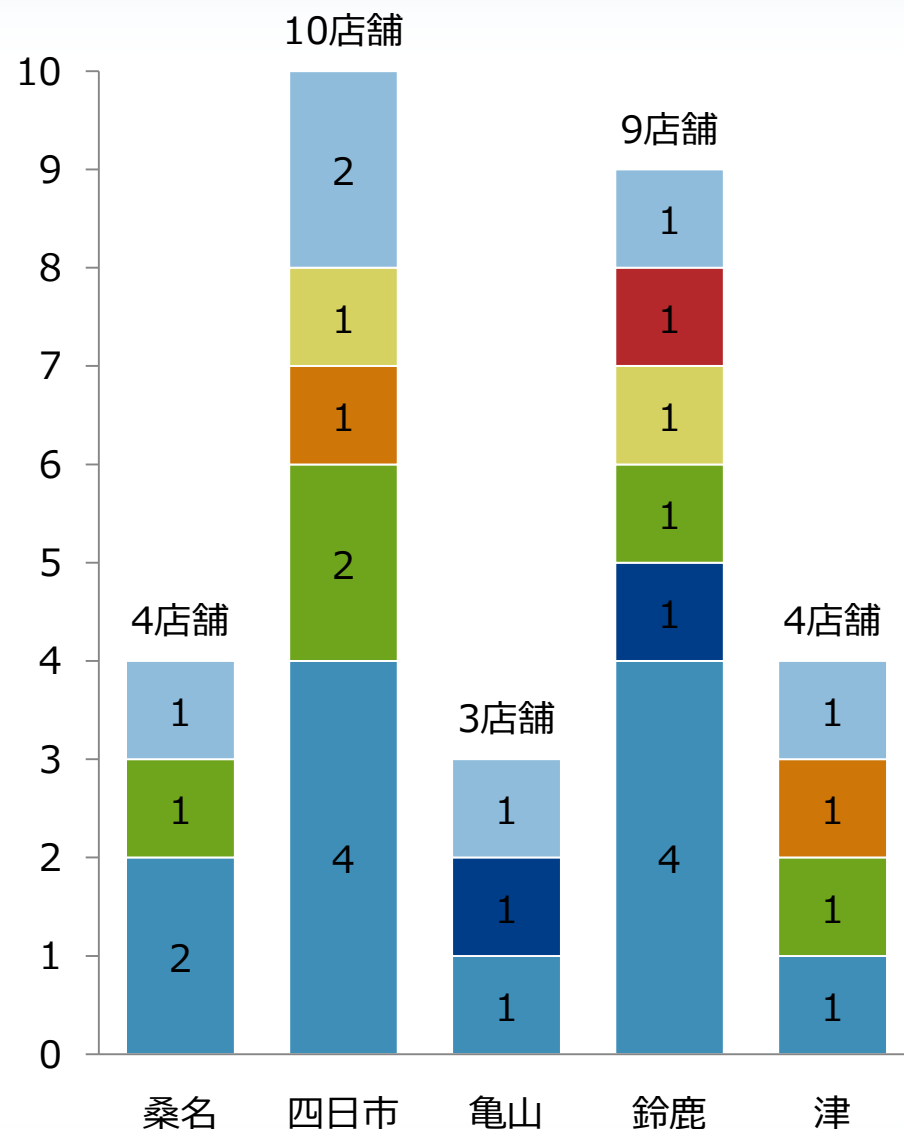
★はオリジナルブランド

店舗ブランド	業態	購入層とブランドの特徴	価格帯
ポルシェ	正規ディーラー	富裕層・本格派 車大好き・複数台保有	高
Audi	正規ディーラー	知性派 医師・学者等	
Volkswagen	正規ディーラー	ブランド志向の女性が多い	
ホンダカーズ	正規ディーラー	ブランド志向の広領域ユーザー	
★ ヴァーサス	中古車業態	全メーカー取り扱い	
オートテラス	中古車業態	ホンダ車専門	中
★ POINT⑤	中古車業態	全メーカー取り扱い 買取強化店・販売は低年式多走行車が中心	
			低

出店状況の推移 (5年間)



地域別出店状況



三重県の地域別推計人口と店舗数（2017年3月末現在）

地 域 名	人口比率 (%)	店舗数	範 囲
桑名	12.0	4	桑名市・いなべ市・桑名郡・員弁郡
四日市	20.8	10	四日市市・三重郡
鈴鹿・亀山	13.6	12	鈴鹿市・亀山市
津	15.6	4	津市
松阪	11.6	—	松阪市・多気郡
伊勢	13.3	—	伊勢市・鳥羽市・志摩市・度会郡
伊賀	9.3	—	名張市・伊賀市
尾鷲	1.9	—	尾鷲市・北牟婁郡
熊野	2.0	—	熊野市・南牟婁郡
合計	100.0	30	

出店済エリア

未出店エリア

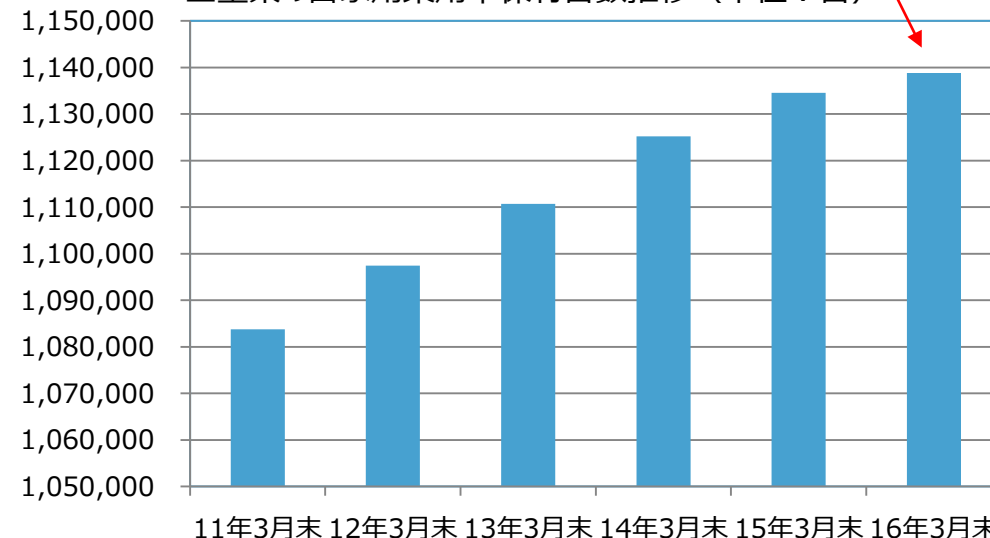
出所：三重県公式HP 2016年4月1日現在、「三重県年齢別人口調査結果」より当社作成

東海三県の自家用乗用車（※）の普及台数及び保有台数（2016年3月末）

県 名	普及台数/世帯 (台)	全国順位	保有台数 (台)	全国順位
愛知	1.288	27位	4,085,701	1位
岐阜	1.596	7位	1,283,308	17位
三重	1.464	14位	1,138,776	20位

出所：一般財団法人 自動車検査登録情報協会「自家用自動車の世帯当たり普及台数」より当社作成

三重県の自家用乗用車保有台数推移（単位：台）

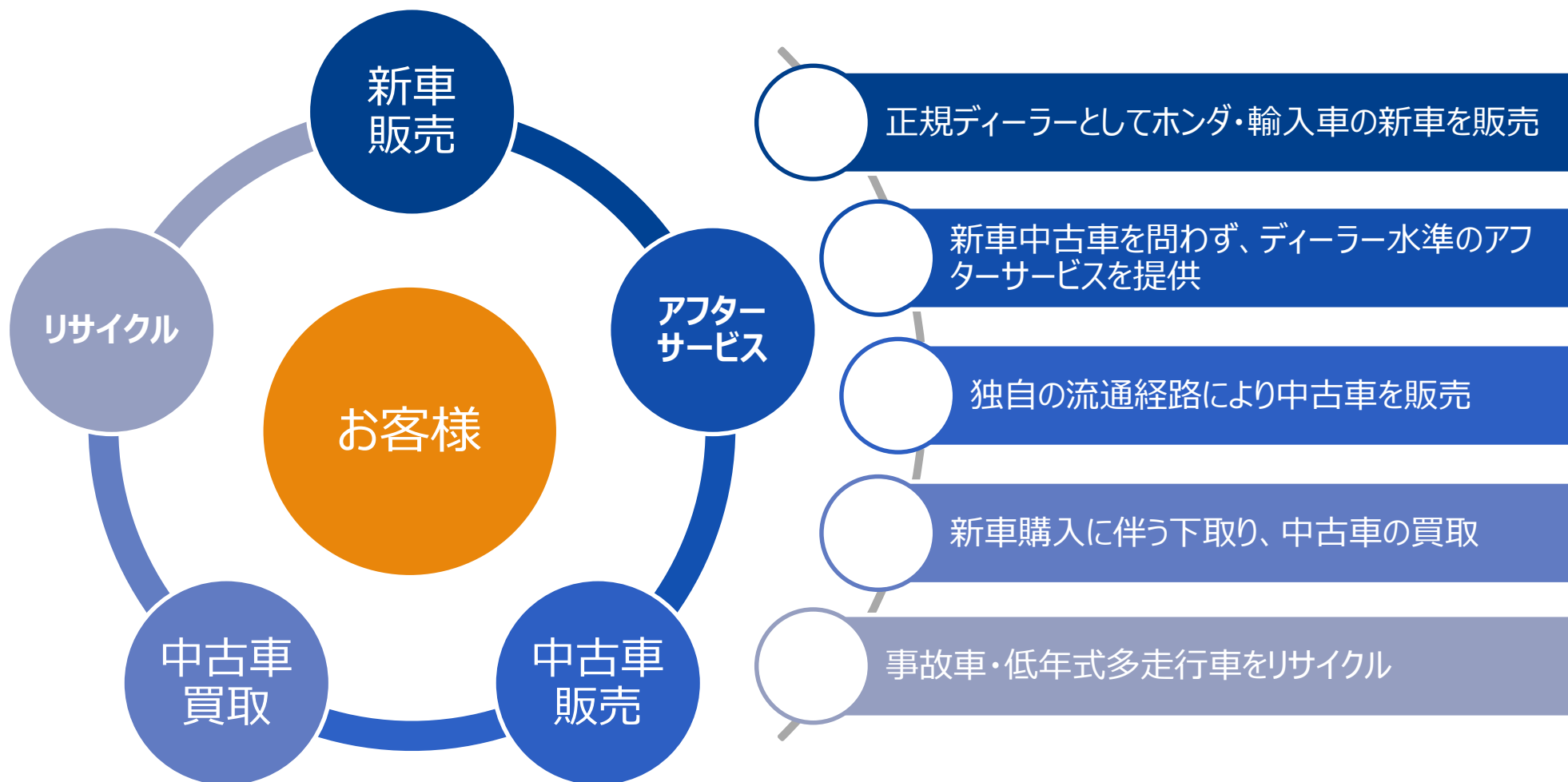


出所：（社）日本自動車販売協会連合会三重県支部「三重県自動車数要覧」より当社作成

（※）自家用乗用車・登録車と軽自動車の合計

バリューチェーンクロス・ミックスビジネスについて

- 自社グループにおいて、一連の業務を行うことでお客様への提案内容が拡大



■ バリューチェーンを自社グループで構成することによる効果

①収益機会の増加

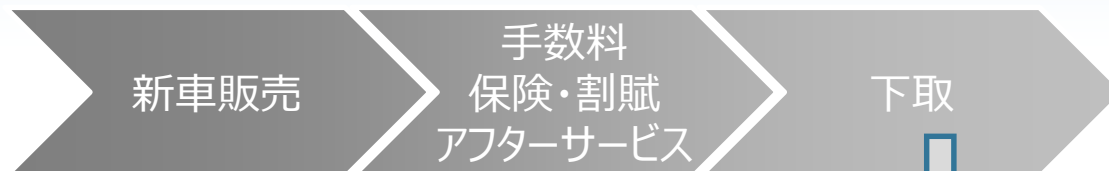
②独自の中古車流通

③リユースパーツの活用

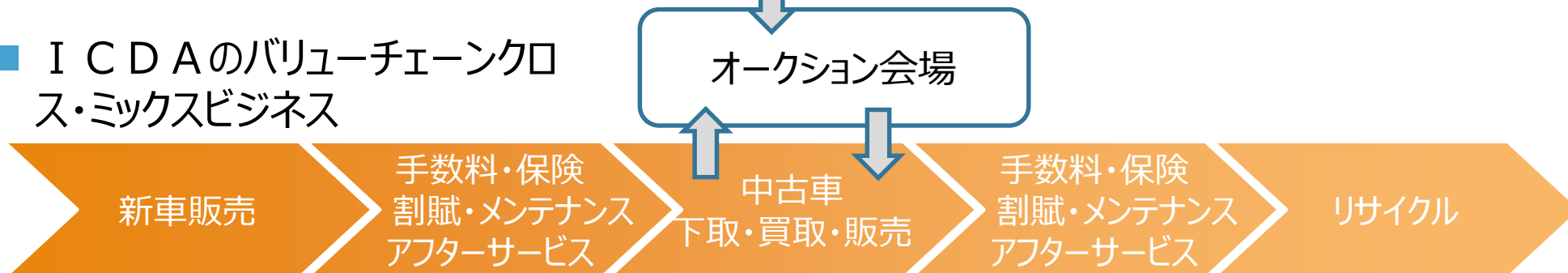
④店舗開発ノウハウ

① 収益機会の増加

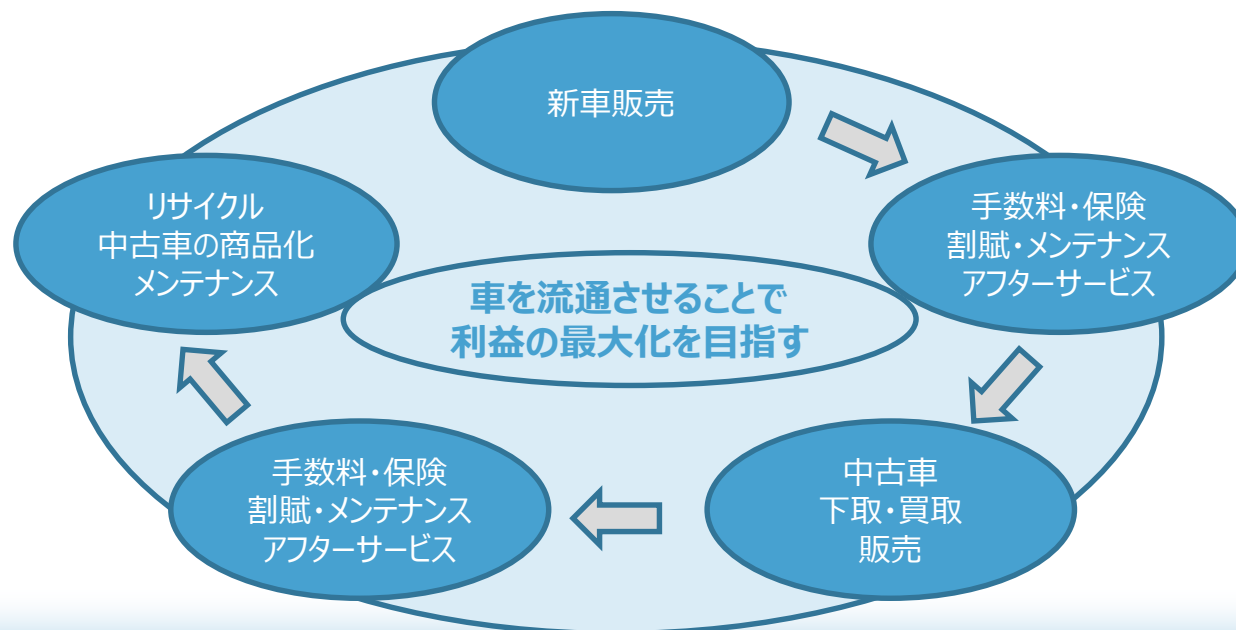
■ 一般的な新車ディーラーにおけるバリューチェーンビジネス



■ ICDAのバリューチェーンクロス・ミックスビジネス



■ 自社グループにて新車販売・中古車下取・買取・販売、リサイクルを一貫して手がけることにより1台の自動車流通する際の収益機会が増加



②独自の中古車流通（グループ内流通でバリューを追求） ICDAホールディングス

- 車の種類・状態等に合わせ、**グループ内で効率よく流通**

POINT⑤と鈴鹿オートリサイクルセンターを保有することで、**車**を**売りやすい**
仕組みを構築



潤沢な中古車の確保が可能



ホンダ車は



ホンダ車以外は



低年式・多走行車は



事故車・スクラップは



③リユースパーツの活用（顧客満足度の向上）

- 品質の高いリユースパーツを提案
- 低コストでの修理が可能となり顧客満足度が向上



④店舗開発ノウハウ

- 複数のブランドを組み合わせることでマーケットに合わせた店舗展開が可能
- 選択肢が多い店舗を実現することでターゲット層が拡大し、集客力が向上

(Ⅰ) 複合型店舗

- 新車ディーラーを核とした複合型
- 幅広いターゲットに対応

(Ⅱ) 小規模併設店舗

- POINT⑤と組合せた出店
- 低コストのオペレーション

(Ⅲ) 隣接型店舗

- 商業施設との共同開発
- ファミリー層に対応

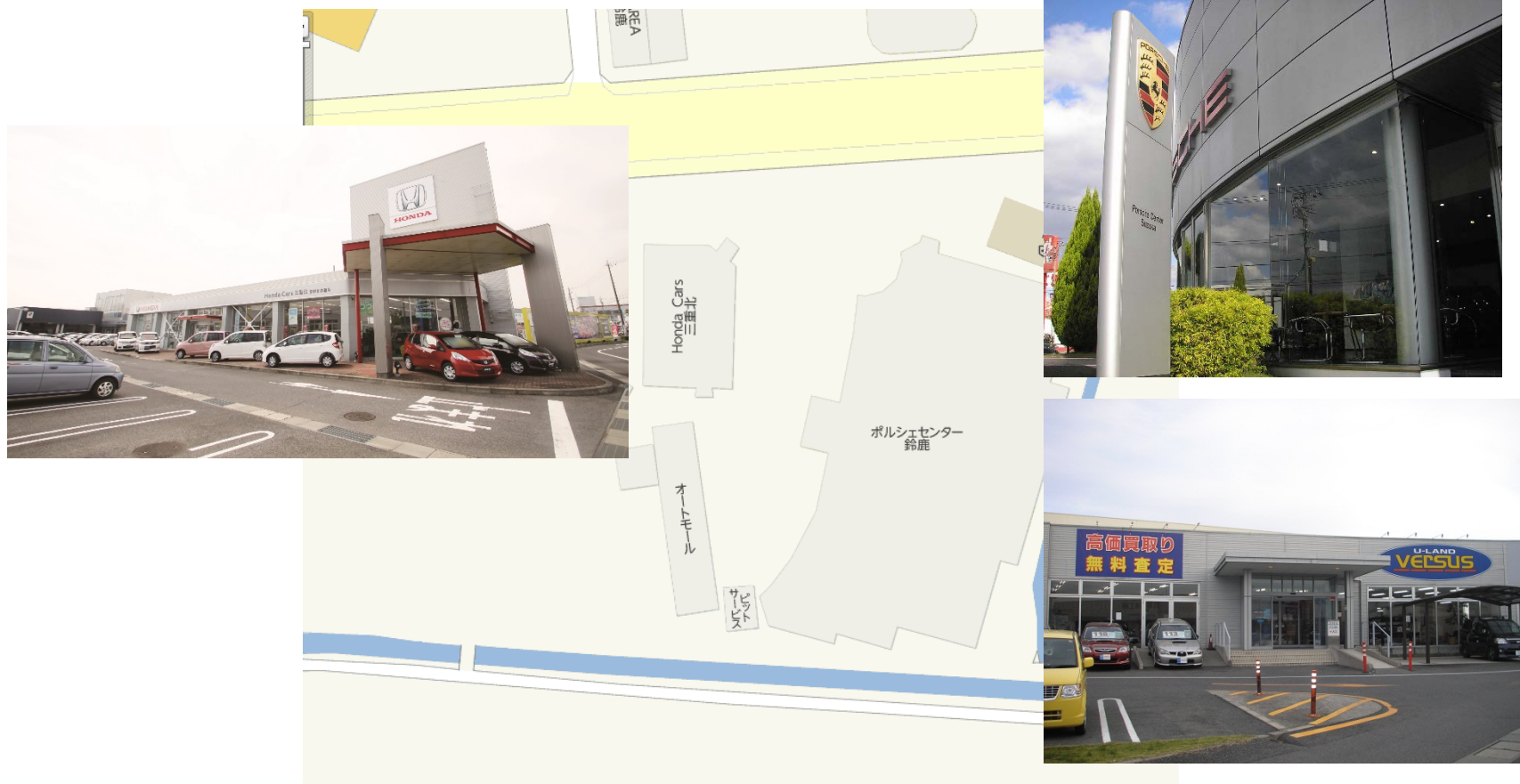
(Ⅸ) ライフ・ミックス・ オートモール

- テナントを誘致した複合施設
- 幅広いターゲットに対応

④ (I) 複合型店舗 (鈴鹿オートモール)

- 国産車販売・輸入車販売・中古車販売店舗を組み合わせた日本初のコンセプトの複合型店舗「オートモール」

ホンダカーズ三重北飯野中央通店、ヴァーサス鈴鹿店、ポルシェセンター鈴鹿



④ (I) 複合型店舗 (四日市オートモール)

- 自社グループのブランドを複数組み合わせることで、新車（ホンダ車・輸入車）・中古車の販売とメンテナンス等のサービスが同時に可能
- 富裕層から若年層までの広いターゲット

ホンダカーズ三重北四日市あかつき台店、ヴァーサス四日市東インター店
アウディ三重四日市、フォルクスワーゲン四日市



④ (I) 複合型店舗 (桑名オートモール)

- 新車 (ホンダ車) ・中古車の販売とメンテナンス等のサービスが同時に可能
- 4 層式のカータワーを設置

ホンダカーズ三重北桑名陽だまりの丘店、ヴァーサス桑名店



④ (Ⅱ) 小規模併設店舗 (桑名大桑通、四日市松本)

- 買取強化ブランドであるPOINT⑤を組み合わせることで出店することにより、比較的低価格帯に対するニーズを持つユーザーの集客に繋がる
- 少ない人数による効率的なオペレーションが可能

POINT⑤四日市松本、ホンダカーズ三重北四日市松本店

POINT⑤桑名、ホンダカーズ三重北桑名大桑通店



④ (Ⅲ) 隣接型店舗 (鈴鹿道伯)

- 商業施設に隣接していることで集客力が向上
- 自社グループの中から、商業施設に来店するファミリー層（資産形成層～富裕層）に対応したブランドを出店

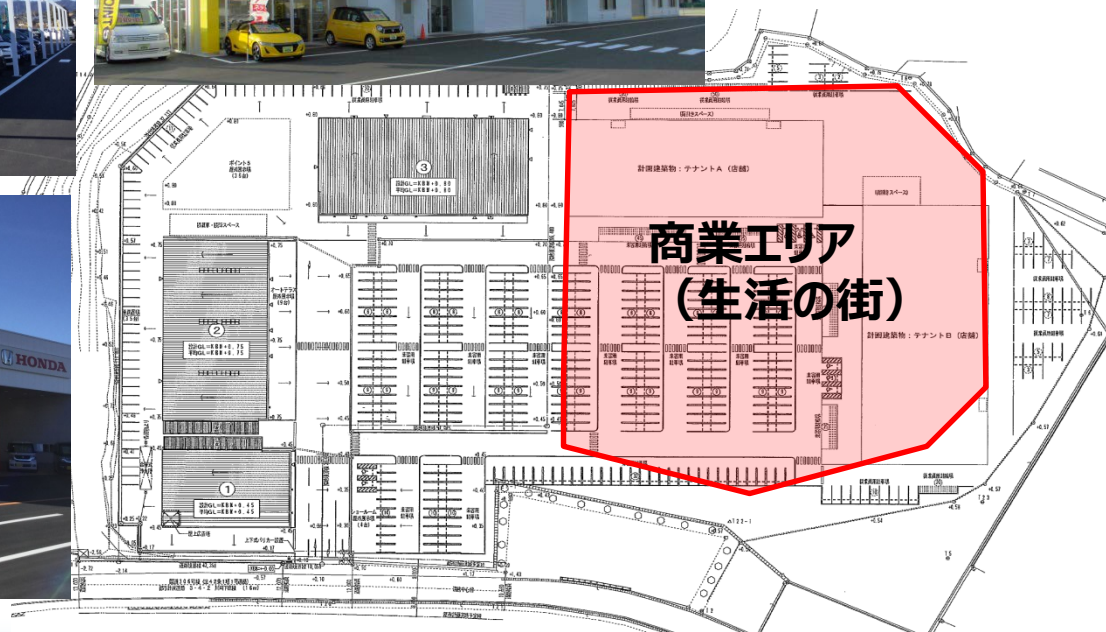
ホンダカーズ三重北鈴鹿道伯店、P O I N T ⑤鈴鹿店、フォルクスワーゲン鈴鹿



④ (Ⅳ) ライフ・ミックス・オートモール

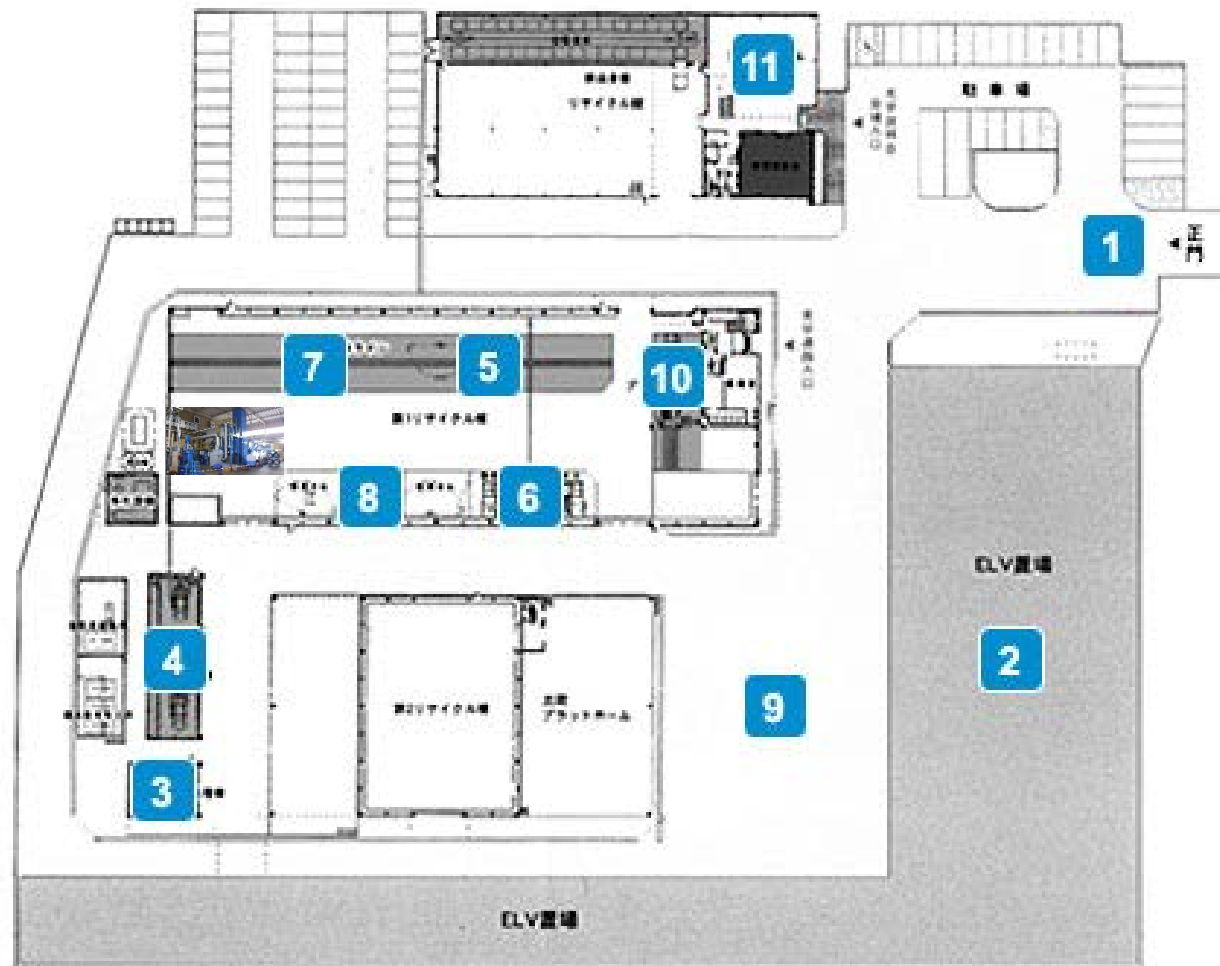
- 平成29年1月亀山オートモール（新車・中古車の複合商業施設）オープン
- 今後自動車販売だけでなく、スーパー等のテナントを誘致する複合施設へ
- 大型車検センターによる、高効率化の取り組みをグループ全店へ波及

ホンダカーズ三重北亀山長明寺店、オートテラス亀山長明寺、P O I N T ⑤ 亀山店、リサイクルパーツショップ、車検センター



自動車リサイクル事業について

- 1 車両引取り
- 2 車両保管ヤード
- 3 前処理棟
- 4 液抜き棟
- 5 反転機1
- 6 反転機2
- 7 ライン作業場
- 8 EPリフト作業場
- 9 中古部品輸出
- 10 300Tプレス
- 11 ショールーム





①車両引取り

- 輸送会社と提携
- 早期の集荷作業



②車両保管ヤード

- 800台の平置きが可能な敷地
- 重ね置きしない丁寧な保管



③前処理棟

- リサイクル法を遵守した作業
- フロンガス回収・エアバック車上破壊



④液抜き棟

- 燃料・オイル類・ラジエーター液の回収



⑤⑥反転機

- エンジン・足廻り部品の取り外し



⑦ライン作業場

- 1台の車両に対し2名で作業
- 丁寧な「手バラシ」解体



⑧EPリフト作業場

- 中古部品生産の専用リフト
- 質の高い商品を生産



⑩300トンのプレス

- スクラップボディのプレス
- 70cm×70cm×70cmの形にプレス



プレス出荷

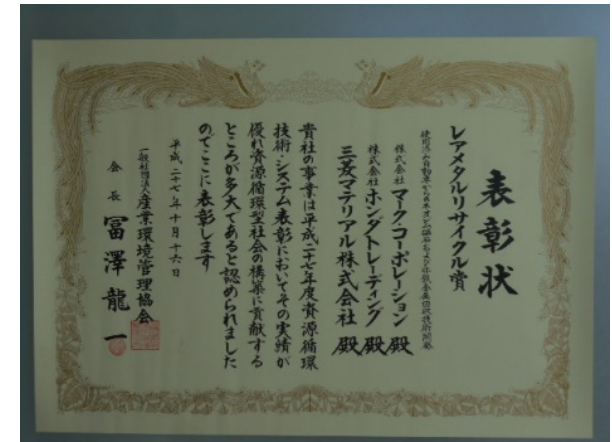
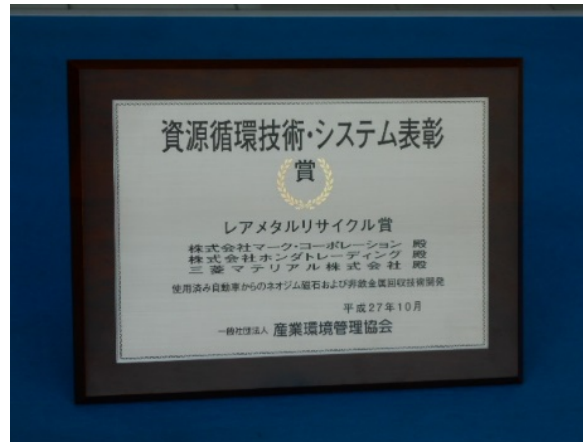
- 鉄鋼メーカーに出荷



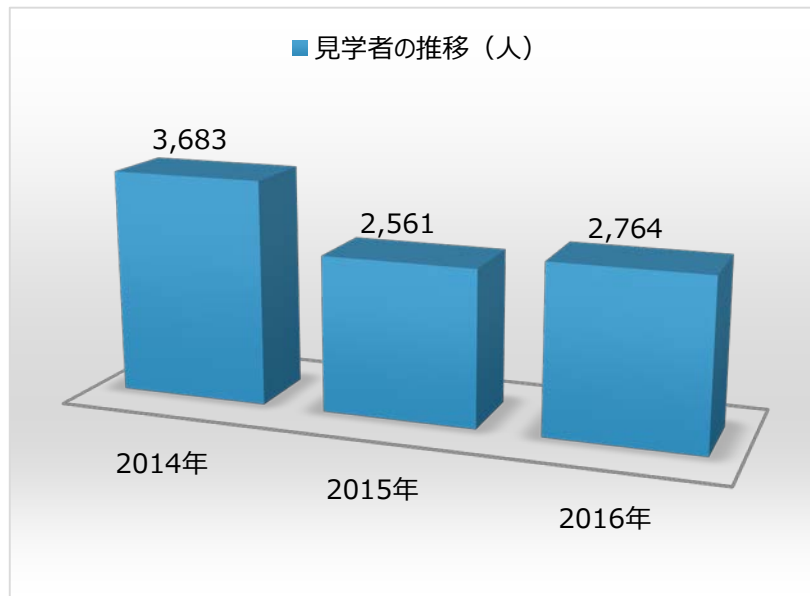
国内行き中古部品

- 1万点の在庫保管スペース
- バーコード管理された在庫

- 当社グループの(株)マーク・コーポレーションの次世代事業が、一般社団法人産業環境管理協会主催の「資源循環技術・システム表彰」にて「レアメタルリサイクル賞」を受賞しました。
- 三菱マテリアル(株)様と(株)ホンダトレーディング様と(株)マーク・コーポレーションの3社で共同で実施したNEDO事業「使用済み自動車からのネオジム磁石および非鉄金属回収技術開発」が評価されました。



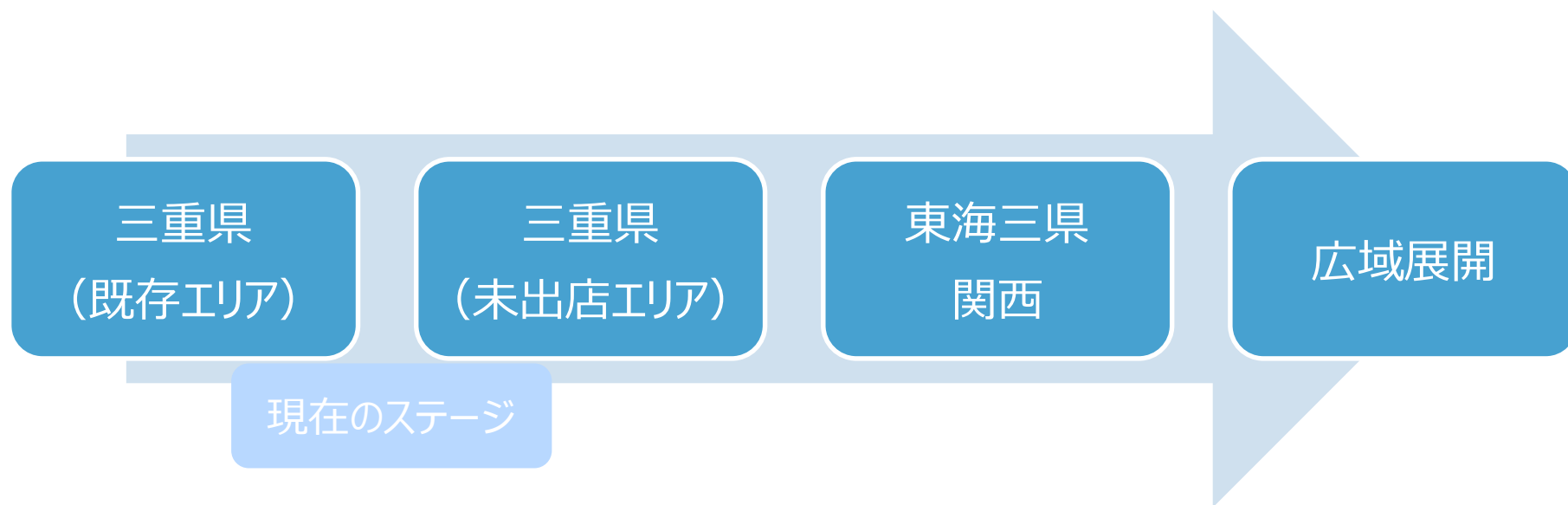
- 鈴鹿オートリサイクルセンター内に自動車リサイクル館や教室を併設
- 年間約3,000名の見学者を迎えて環境問題に関する啓蒙活動を実施



自動車リサイクル館での見学の様子

今後の戦略

- 出店余地がある三重県での複合型店舗の推進
- 中期的には **M & A** を踏まえ出店エリアを東海三県・関西の近隣地区へ拡大
- 中古車販売・買取を行う独自ブランド P O I N T ⑤ を **積極展開**



出店エリア選定基準

人口3万人以上の都市

交通インフラが未整備な地域

1世帯あたり自動車所有台数
1.0台以上

- 八野モータープール（三重県鈴鹿市）が2014年3月に完成
- 自動車業界において問題となっている、**路上積み下ろしを解消**

【今後の活用方法】

- ・ P Bカー（自主企画カスタマイズカー）製作工場
- ・ グループ新車・中古車デポックスセンター



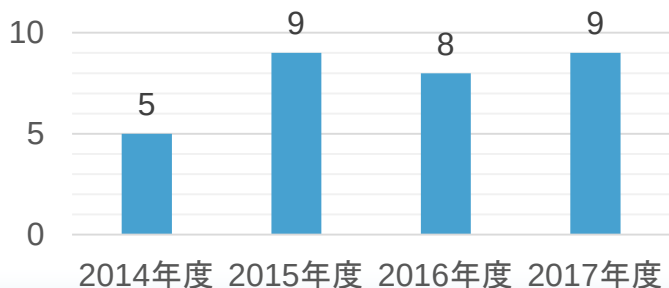
約20,000坪の敷地面積

- 全国的に珍しい、自動車営業・自動車整備士・サービスフロントに**女子力**を活用
- 女性目線**を活かした商談・接客、自動車整備の効率化



今期、女子サービスフロント登用拠点は9店舗を予定

■ 女子サービスフロントの推移(人)

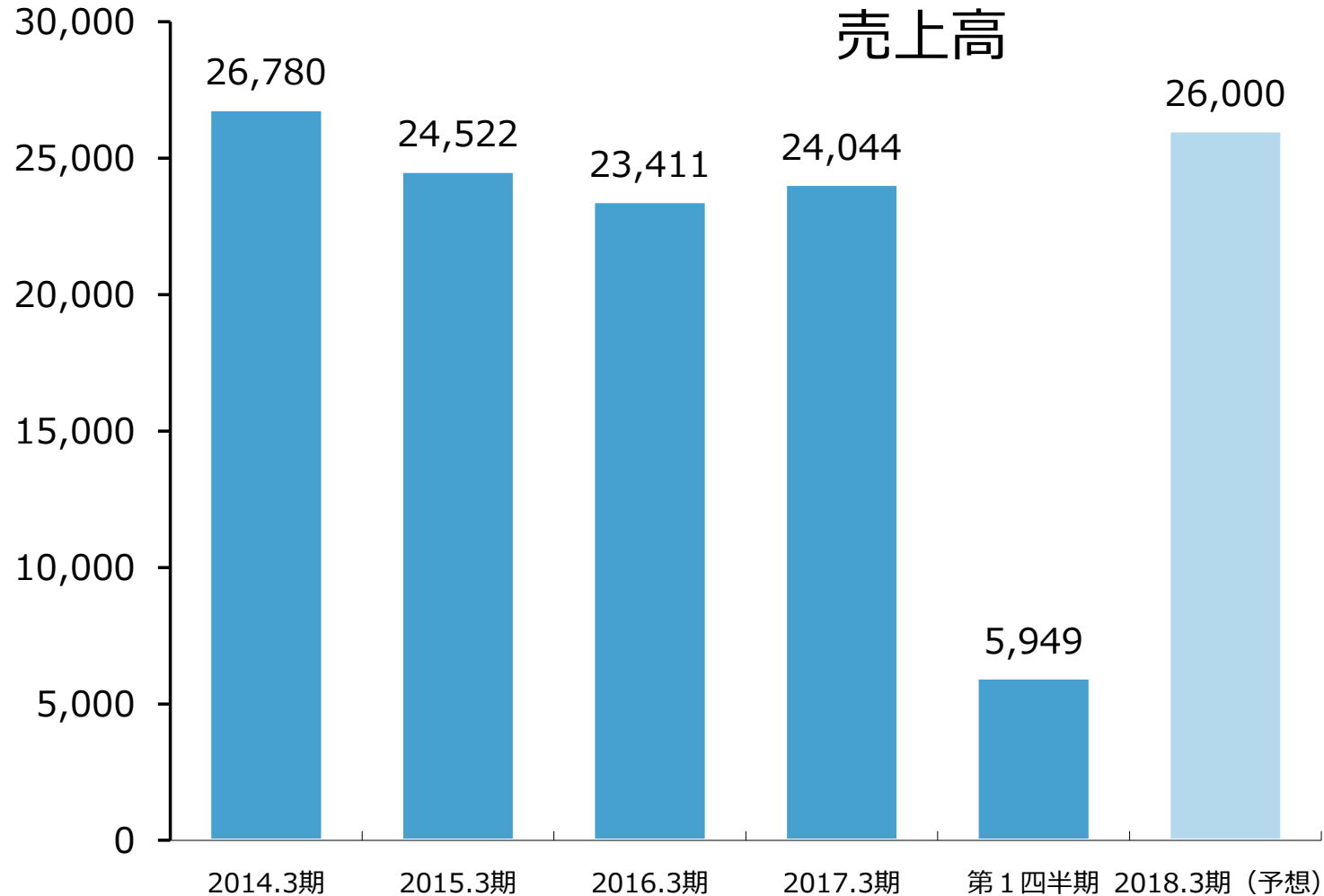


掲載日 中日新聞朝刊 (2014年7月2日)
11ページ
中日新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。



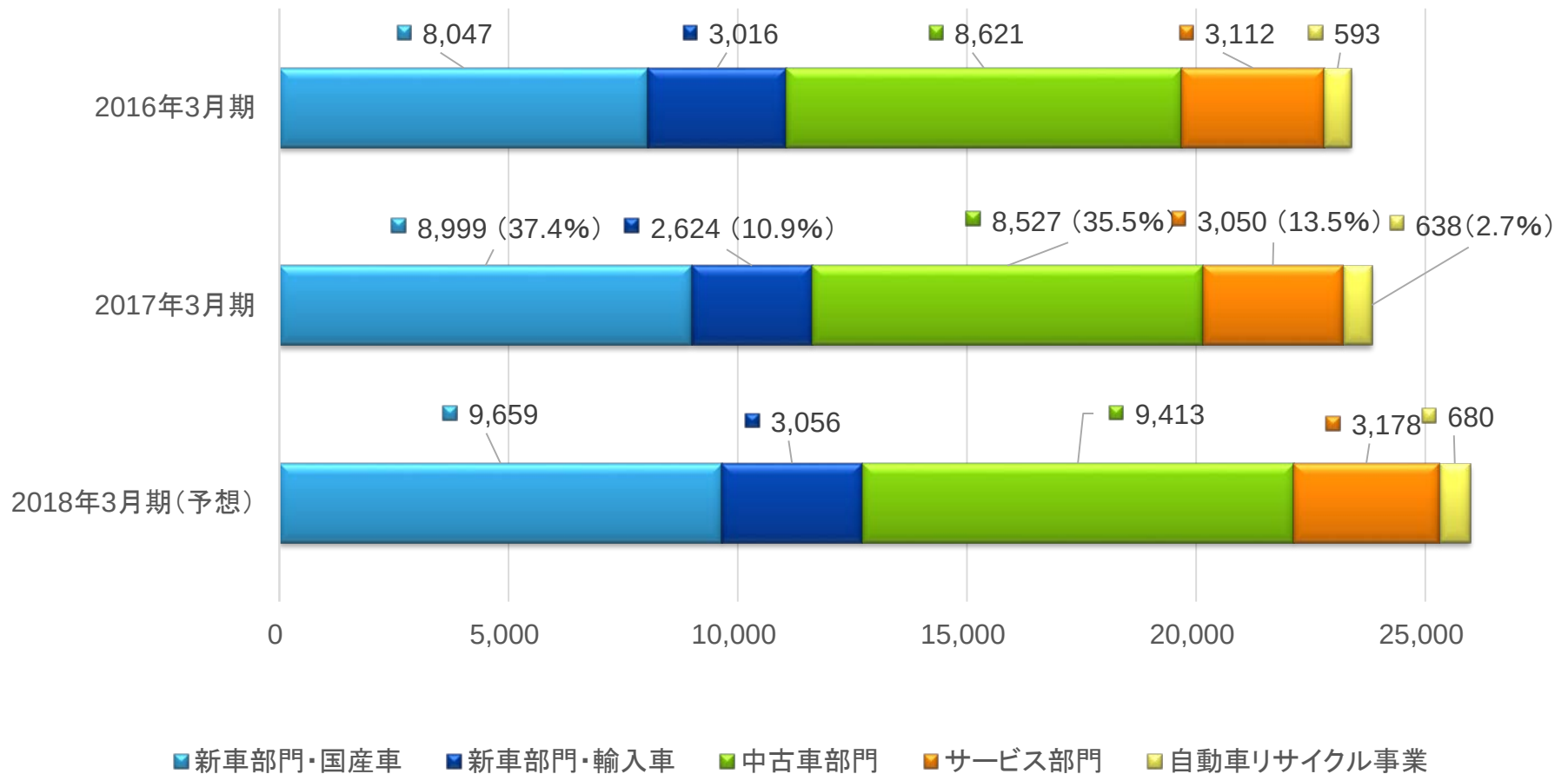
業績と株主還元について

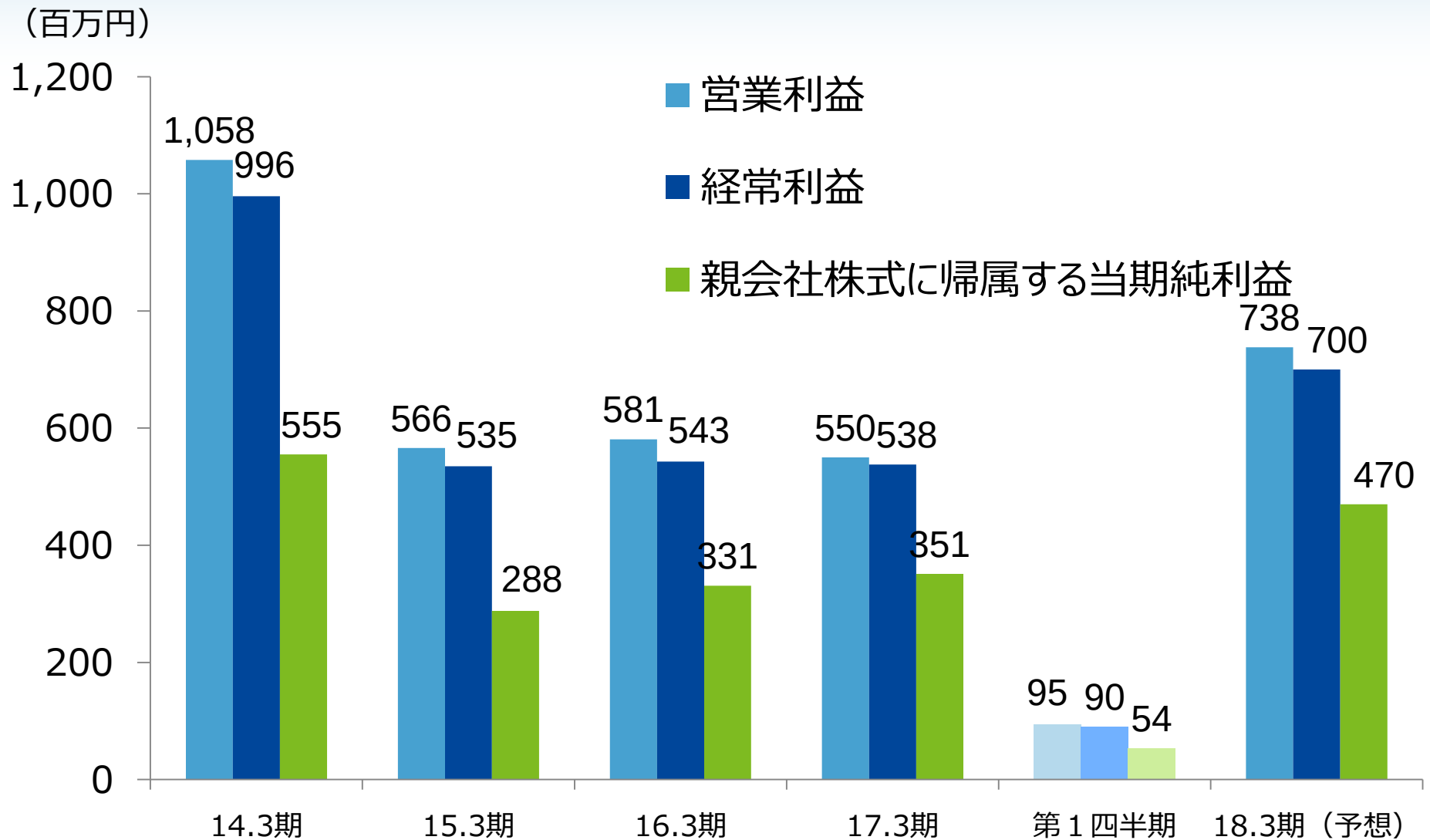
（単位：百万円）



セグメント別売上高の推移（連結）と今期予想

(百万円)





(単位：百万円)

項 目			2016年 3月期	2017年 3月期	増減
資 産 の 部	流 動 資 産	現金及び預金	814	706	△108
		受取手形及び売掛金	290	299	9
		商品及び製品	2,634	2,643	9
		その他	252	293	41
		流動資産合計	3,990	3,941	△49
	固 定 資 産	有形固定資産	9,852	10,543	691
		無形固定資産	63	57	△6
		投資その他資産	835	968	133
		固定資産合計	10,750	11,569	819
	資産合計		14,741	15,511	770

項 目			2016年 3月期	2017年 3月期	増減
負 債 ・ 純 資 産 の 部	流 動 負 債	買掛金	1,866	1,605	△261
		短期借入金	3,350	3,400	50
		未払法人税等	124	126	2
		その他	2,204	2,475	271
		流動負債合計	7,544	7,606	62
	固 定 負 債	長期借入金	2,056	2,419	363
		役員退職慰労引当金	272	282	10
		退職給付に係る負債	618	672	54
		その他	56	64	8
		固定負債合計	3,002	3,437	435
	負 債 合 計		10,546	11,043	497
	純 資 産	資本金	1,161	1,161	0
		資本剰余金	1,148	1,148	0
		利益剰余金	1,799	2,045	246
		株主資本合計	4,109	4,355	246
		その他の包括利益累計額合計	△38	△17	21
		非支配株主持分	123	128	5
	純 資 産 合 計		4,194	4,467	273
	負債純資産合計		14,741	15,511	770

【基本方針】

将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、
連結当期純利益の20%程度を目安に安定配当を継続

配当の状況

	配当性向（連結）	1株当たり年間配当金
2016年3月期	31.6%	50円
2017年3月期	29.9%	50円
2018年3月期（予想）	22.3%	50円

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

鈴鹿で株主をおもてなし

ICDAホールディングスが優待企画



グループで扱う車両計21台を用意した

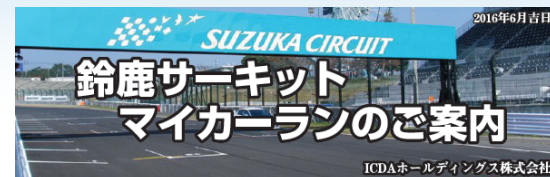
この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。この企画は、普通自動車免許を持つ同社株主を対象に、公道を走行可能な四輪車でサーキットコースを走行する。

【建】ホンダ四輪販売三重北を核とするICDAホールディングスが25日、株主対象とした「マイカーラン」を鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開催した。国際レーシングコースを株主が持ち込む車両などで走行する企画で、昨年に続いて2回目の開催となった。同日にサーキット内施設で開催した株主総会後の株主に対する優待企画として実施しているもので、今回は前回の40人を上回る48人が参加した。株主のマイカーによる走行のほか、同社グループで取り扱うホンダ車や輸入車なども用意し、株主は自らハンドルを握り国際的なコースでの走行を楽しんだ。

サーキット走行を楽しむ

愛知県から参加した投資家（男性40代）は、「この企画は今回初めて知り参加した。特に自動車車両やモータースポーツに関心がある訳ではないが、せっかくのチャンスだと思い参加した。学生の頃ドライバーズを働いたが、そのコースを自分で運転できるとは想像すらしたことなかった。今回は素晴らしい体験ができ、一生の思い出になるだろう」と感想を語った。

また、主催者であるICDAホールディングスでは、「グループ全体で株主をおもてなしする日。参加希望者も増えた。我々もスタッフとして動き、株主とともに楽しむ日として今後も続けていく」（岡井弘光社長）としている。同ホールディングスは、2013年6月にJASDAQに上場、その後11月に名証2部、そして昨年6月には東証一部に市場変更している。今回の企画は、上場後の株主優待の一環として行っているもので、来年も株主総会同日の開催を予定している。



当社の株主様を対象に、鈴鹿サーキット国際レーシングコース（5.8Km）を使用いたしまして、先導車付きマイカーランを実施させていただきます。
当社グループ取扱車種（※1）もご用意しておりますので、ご試乗頂くことも可能となっております。数々の名勝負の舞台となった鈴鹿サーキット国際レーシングコースを自らのドライビングでアタックしてみませんか。是非、この機会に、ふるってご参加ください。

（※1）当社グループ取扱車種については、抽選となりますので、第1希望・第2希望・第3希望を申込み用紙にご記の上、お申込み下さい。

【参加資格】 普通自動車免許をお持ちの当社株主様
【参加車両】 一般公道の走行可能な4輪車両
【日程】 2016年6月22日（水）



先着
100
名様に

【スケジュール】
受付時間 13:30 チームオフィス（詳細は、株主総会終了後にご案内いたします。）
ブートアップ 14:00 プリーフィングルーム（走行に関する事前説明会）
走行時間 15:00～16:00

【会費】 無料

【申込方法】 本用紙の裏面に記載の注意事項、誓約事項をご確認頂き、必要事項をご記入の上、下記お申込先までFAXにてお申込み下さい。ご記入頂いたご連絡先電話番号に、当社よりご連絡致します。

【申込先】 ICDAホールディングス株式会社 総務課 FAX: 059-384-2881
【申込期限】 2016年6月15日（水） 20:00 まで

【問い合わせ】 申込に関するお問い合わせ先
ICDAホールディングス株式会社 総務課 TEL: 059-381-5540

走行会に関するお問い合わせ先
株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 営業部営業課 担当: 川畑
TEL: 059-378-1300（平日9:00～17:00）



鈴鹿サーキットマイカーラン走行会

掲載日 日刊自動車新聞朝刊 平成27年（2015年）7月3日
日刊自動車新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により予想と大きく異なることがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先
I C D Aホールディングス株式会社

International Conglomerate of Distribution for Automobile

管理部総務課

TEL 059-381-5540

FAX 059-384-2881

URL <http://www.icda.jp/>